

前沖縄防衛局長の沖縄県民を侮辱する暴言に対する抗議と防衛大臣の辞職を求める抗議決議

去る11月28日に前沖縄防衛局長は、普天間基地移設先の環境影響評価書の提出時期を問われ「犯す前に犯しますよと言いますか」と、性的暴行に例えた看過できない発言を行ったことが報道で明らかになった。

さらに一川防衛大臣は、普天間基地返還の発端となった1995年の少女暴行事件に関し「中身について詳細は知らない」と国会答弁しており、前沖縄防衛局長を更迭した直後の大臣の発言としては、緊張感を欠き、沖縄の基地問題に対する防衛省や国の姿勢が問われるものである。

県民は戦後66年、米軍基地あるが故に、米兵による少女暴行事件や県民の尊い生命が奪われた事件・事故など、筆舌に尽くしがたい苦しみと痛み、人権蹂躪を強いられている。

防衛省の沖縄のトップである前沖縄防衛局長の発言は、この県民の長年の耐え難い苦痛を嘲笑い、女性と県民を侮辱し愚弄するもので言語道断である。また、関係閣僚を相次いで沖縄詣でさせ、「沖縄の負担軽減」「誠心誠意、理解と協力を求める」と低姿勢を装いながら、県民の頭越しに新基地建設を押し進める野田政権の強権的姿勢を如実に示している。

よって北谷町議会は、前沖縄防衛局長の発言と野田政権の強行姿勢に激しい怒りをこめ抗議し、下記事項を政府に強く求める。

記

更迭した前沖縄防衛局長の発言の撤回と謝罪、防衛大臣の辞職及び野田首相の責任を明確にすること。

以上、決議する。

平成23年12月14日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

内閣総理大臣 防衛大臣 内閣官房長官 沖縄防衛局長